



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会

会 報

1991-1

2月

I. 1990年第5回理事会

日 時：1990年11月28日(水) 5:00 pm

場 所：仙台市 長陵会館 中会議室

出席者：大橋会長、常光前会長、見明副会長、池田、二階、堀内、石川、太田、岡田、
小林各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長。

協議事項

- 1990年度の会計については、長尾会計担当理事より以下のごとく報告され、また加賀山学教授（東北大学歯学部）及び茂呂周教授（日本大学歯学部）による会計監査を受けた旨報告があり、承認された。

1990年度国際歯科研究学会日本部会（JADR）会計報告 （1989年11月1日～1990年10月31日）

収 入	(円)	支 出	(円)
前年度よりの繰越金	4,734,544	通信費	312,047
会費収入		印刷費	303,514
正会員 917名	3,113,000	会合費	31,523
賛助会員 7社	490,000	交通費	555,060
日本歯科医学会よりの補助金	800,000	文房具費	44,986
銀行利息	19,620	プラーク製作費	144,200
		第38回JADR大会準備補助金	600,000
		IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金	300,000
		特別講演謝金	100,000
		国際交流費	200,758
		記念大会積み立て金	1,000,000
		雑費	188,842
		(小計)	(3,780,930)
		次期繰越金	5,376,234
合 計	9,157,164	合 計	9,157,164

2. 1991年度予算案については、長尾会計担当理事より以下のような案が提出され、審議ののち承認された。なお名簿作成の費用については別に積立てた項目より支出したので、別途報告の予定である旨の説明があり、了承された。

1991年度国際歯科研究学会日本部会（JADR）予算案
（1990年11月1日～1991年10月31日）

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰越金	5,376,234	通信費	350,000
会費収入		印刷費	350,000
正会員 3,000円×927名	2,781,000	会合費	100,000
賛助会員 7社	490,000	交通費	750,000
日本歯科医学会よりの補助金	800,000	文房具費	50,000
銀行利息	15,000	プラーク製作費	150,000
		第39回JADR大会準備補助金	700,000
		IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金	300,000
		特別講演謝金	200,000
		国際交流費	300,000
		記念大会積み立て金	2,000,000
		予備費	500,000
		(小計)	(5,750,000)
		次期繰越金	3,712,234
合 計	9,462,234	合 計	9,462,234

3. 会員数の動向が報告された（1990年10月31日現在）

		昨年度
一般会員	1, 1 2 9名	1, 0 7 2名
名誉会員	3名	2名
終身会員	2 0名	2 1名
賛助会員	7社	7社

4. 名誉会員推薦の件

田熊庄三郎東京歯科大学名誉教授を名誉会員に推薦することが決まった。

5. 第39回国際歯科研究学会日本部会（JADR）大会について

第39回JADR大会は、準備委員長として大阪歯科大学太田義邦教授にお願いし、1991年12月5日(木)、6日(金)の両日に大阪市で開催されることになった。

6. 長尾理事より会員名簿作成中で、12月中に会員に郵送の予定である旨の報告があった。

7. IADR 韓国支部林昌潤 (Lim Chang-Yun) 会長より、1991年1月18、19日ソウル、ロッテホテルで開催される第9回IADR 韓国支部会総会へJADRの役員の招待講演の依頼があったので、2名の講演者を理事会で選考することになった。

II. 第 38 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 大会

1. 第 38 回国際歯科研究学会日本部会大会は平成 2 年 11 月 29 日、30 日の両日、仙台市戦災復興記念館に於て、大会長堀内博教授のお世話で開催された。

本大会では、IADR スカンジナビア支部より Dr. Jan Carlsson (スウェーデン ウメオ大学口腔微生物学教授) による特別講演と、昨年に引続き JADR と IADR 韓国支部との友好関係を増進する目的で、韓国支部より元会長 Dr. Cheong, Dong-Kyun (丁東均) 教授と事務局長の Dr. Suh, Kyu-Won (徐奎源) 教授を招待し、丁教授に特別講演をお願いした。カールソン、丁両先生には感謝のプラークを贈呈した。この他にも、香港から Dr. Stephen H. Y. Wei および韓国から 4 名の参加者があった。

学術大会では、参加登録者 590 名、学会出席者 381 名で、上記の招待講演 2 題のほか、一般講演 99 題、ポスター発表 60 題の発表があり、盛会裡に無事終了した。

なお、今回より JADR 学術大会は日本歯科医師会の生涯研修事業として、正式に認定された。

2. ビジネスセッションでは、上記理事会で決まった庶務、会計、予算などの審議事項はすべて承認された。また、2001 年の IADR 総会の東京誘致について、引続き活動を継続する件が承認された。田熊庄三郎東京歯科大学名誉教授の名誉会員への推薦が承認され、プラークが贈呈された。また、池田正前大会長へも感謝のプラークが贈られた。

なお総会において、佐々木哲次期会長より次の新役員が指名された。

新役員 (1991 ~ 1992 年度)

会 長	佐々木 哲 (東京医科歯科大学歯学部生化学)
副 会 長	作 田 守 (大阪大学歯学部矯正学)
前 会 長	大 橋 正 敬 (日本大学歯学部理工学)
事 務 局 長	高江洲 義 矩 (東京歯科大学口腔衛生学)
会計担当理事	柳 澤 孝 彰 (東京歯科大学口腔病理学)
理 事	池 田 正 (日本大学松戸歯学部口腔細菌学)
	太 田 義 邦 (大阪歯科大学解剖学)
	黒 田 敬 之 (東京医科歯科大学歯学部矯正学)
	小 林 義 典 (日本歯科大学補綴学)
	丸 山 剛 郎 (大阪大学歯学部補綴学)
	茂 呂 周 (日本大学歯学部口腔病理学)
	山 田 正 (東北大学歯学部口腔生化学)

Ⅲ. 1991年第1回 JADR 理事会

日 時：1991年1月28日(月) 2:00 pm

場 所：東京歯科大学水道橋校舎2階会議室

出席者：佐々木会長、大橋前会長、作田副会長、高江洲事務局長、柳澤会計担当理事、
太田、黒田、丸山、茂呂、山田各理事。

欠席者：池田、小林理事。

開会に先立ち、新理事の紹介があった。

1. 報告事項

1) 第38回 JADR 大会(仙台)の報告、会計について

堀内前理事の代理として山田理事より第38回 JADR 仙台大会の報告があり、決算報告が承認された。

2) IADR 本部への活動報告について

佐々木会長より第38回 JADR 大会のプログラム、抄録、および1990年度の JADR の活動報告をワシントン本部へ送付したことが報告された。

3) IADR 本部理事会(1月開催)の報告について

佐々木会長から1991年1月7、8両日にワシントンで開催された本部理事会(IADR/AADR Board Meeting)の議事要旨として以下のように報告された。

(1) IADR 次期副会長は投票の結果、香港の Dr. Stephen H. Y. Wei) の当選が決まった。また、1992年度の副会長候補者についても3名が選出された。

(2) 各種部門の授賞者、各種委員会委員が決定した。

日本部会からの本部委員会委員は以下の通りである。

FDI Program Advice Committee 東京歯大 高添教授

Nomination Committee 阪 大 丸山教授

Young Investigator's Award Committee 東 北 大 山田教授

Joint IADR/AADR Publication Review Committee 日本歯大 須賀教授

なお、日本部会から多くの各種委員会委員を推薦するように要請があった。

(3) AADR と AADS との協力について

AAADR は将来 American Association for Dental School (AADS) との協力を緊密にして行く計画をもっており、この大綱が承認されたが、日本部会としては IADR の立場も尊重して欲しいという要望を行った。

(4) 第69回 IADR アカプルコ大会について

メキシコ部会内の問題は一応解決されたので、予定通り開催される旨報告があった。

日本部会として、登録締切の時期、ホテル、フライトの予約など問題点の改善を要望した。

(5) IADR 総会で発表のものとまったく同じ内容の論文を他の学術誌に投稿していた例について、道義上の問題が議論された。

(6) アマルガム問題

1990 年末にアメリカでアマルガムの毒性に関して突発的にマスコミで取り上げられる事件があり、この対応に関連した資料が配布された。

4) JADR 代表の第 9 回 IADR 韓国支部総会への参加について

第 9 回 IADR 韓国支部総会は 1991 年 1 月 18、19 日にソウル市ロッテホテルで開催された。この総会には日本部会より太田義邦、堀内博両理事が招待され、特別講演をおこなった。JADR を代表して祝辞を述べ、感謝の書簡を林昌潤会長に呈出した。

2. 協議事項

1) 第 39 回 JADR 大会の準備状況について

1991 年度の第 39 回 JADR 大会は大阪歯科大学太田義邦教授が準備委員長となり、1991 年 12 月 5 日(木)、6 日(金)の両日、大阪で開催される予定であるが、同委員長より準備状況について説明があった。外国からの招待講演者の件を含めて、詳細は次回の理事会で検討することになった。

2) 第 69 回 IADR アカプルコ大会理事会の出席者の件について

1991 年 4 月に開催される第 69 回 IADR 理事会には、JADR 代表として、佐々木会長、高江洲事務局長の出席が確認された。また、大橋元会長、砂田日本歯科医学会会長のオブザーバーとしての出席要請の件も了承された。

3) その他

(1) 柳澤新会計担当理事より長尾元理事よりの引継事項として、会員名簿はすでに全会員宛に発送済みであることおよびその収支決算が報告された。

(2) JADR 事務局の移転が進行中である旨報告された。

(3) 本年度の JADR 理事会のスケジュールが決まった。

ICOB 開催中止についてのお知らせ

IADR 本部クラクソン事務局長より、1991 年 7 月 14 ~ 16 日にギリシャ・アテネで開催予定であった第 12 回 ICOB (International Conference on Oral Biology) が中止になった旨 2 月 7 日付で連絡がありました。

ご了承下さい。

第 39 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 大会のご案内

国際歯科研究学会日本部会 (JADR) の第 39 回総会は、下記のごとく開催されますので、ご案内申し上げます。多数の方々の御出席を希望しております。

記

準備委員長：大阪歯科大学解剖学講座 太田義邦教授

期 日：1991 年 12 月 5 日(木)、6 日(金)

会 場：大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町 8-2-6 (電話 06-772-5931)

なお、詳細については、準備委員長 太田義邦教授 にお問い合わせ下さい。

〒540 大阪市中央区大手前 1-5-31

大阪歯科大学解剖学講座

電話 06-943-6521 (内線 270、260)

FAX 06-943-8051

The 9th International Conference on Periodontal Researchのご案内

1992 年 9 月 23 ~ 26 日に、The 9th International Conference on Periodontal Research が大阪府吹田市で開催される予定です。この会議は IADR の歯周病研究グループと JADR が後援しております。

なお、詳細については、準備委員長 岡田 宏教授 にお問い合わせ下さい。

〒565 大阪府吹田市山田丘 1-8

大阪大学歯学部口腔治療学講座

電話 06-876-5711

FAX 06-875-4359

事務局の移転のお知らせ

1991 年 1 月より JADR 事務局ならびに担当者が下記の通りになりました。

事務局 長：高江洲 義 矩

〒160 千葉県真砂 1-2-2

東京歯科大学口腔衛生学教室

電話 0472-79-2222 (内線 2695、2696)

FAX 0472-79-2052

会計担当理事：柳 澤 孝 彰

〒160 千葉県真砂 1-2-2

東京歯科大学口腔病理学教室

電話 0472-79-2222 (内線 2710、2711)

FAX 0472-79-2052

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒160 千葉県真砂 1-2-2

東京歯科大学口腔衛生学教室内

電話 0472-79-2222 (内線 2695・2696)

FAX 0472-79-2052